

平成21年度地産地消優良活動表彰受賞団体の概要（生産局長賞）

農事組合法人 豆の木

～女性農業者による在来大豆品種「大だるま」の生産・加工・販売～

代表者：長田 泰子
所在地：福井県大野市
構成員：生産者 6名
活動開始年月日：平成13年



表彰理由

大野在来大豆品種「大だるま」を用いた「大だるま味噌」の商品化・販売、消費者ニーズにあった地場農産物の生産や直売所運営を行う、女性農業者による取組。

この取組をきっかけに、「大だるま」の栽培に取り組む認定農業者が増加するとともに、「大だるま」の特性を活かした豆腐を商品化する県内加工業者が誕生し、農商工連携による新たなビジネスの構築にも寄与。

農産物加工や直売に取り組む女性農業者や組織の増加にも貢献。

取組内容

1 「大だるま」の栽培及び「大だるま味噌」の商品化

- 地域の農業者から農地を借用し、構成員自らが「大だるま」の栽培を行い、耕作放棄地の防止や地場農産物の生産振興に貢献。
- 「大だるま」を用いた「大だるま味噌」を商品化。現在は地域内外のスーパーや百貨店で販売するなど販路を拡大し、郷土の優れた農産物を広くPR。

2 農産物直売所「菜々彩(なないろ)」の運営等による消費者ニーズに応じた生産・販売

- 直売所ではレジ係を構成員が当番制で受け持ち、直接、来店者の反応や要望、消費動向を確認することにより、消費者ニーズに応じた品揃えやサービスを心がけるとともに、新たな野菜等の栽培にも挑戦。
- 有機JASをはじめ、エコファーマーや福井県特別栽培農産物認証を取得し、環境に配慮した農産物を生産。また、直売所では必要最小限の包装に努め、納入もコンテナを使用するなど環境負荷が小さい活動も実践。

3 消費者との交流、地場農林産物のPR

- 「奥越ふるさと活性化協議会」に加入し、郷土の農村・農産物の魅力や生産の現場を消費者に直接伝える活動「こだわり塾」を継続的に実施。地産地消に理解を示す消費者の育成に寄与。
- 大野市の第3セクター「(株)平成大野屋」や一般財団法人「おおの農林楽舎」と連携し、地場農林産物の加工品の集荷・納品の仲介や地場農林産物のPR・販売促進に協力。